

# 統計アラカルト

熊本の統計情報 令和元年9月13日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

随時色々な統計に関する話題・データを紹介します。

これからの季節は、穏やかな気候で、過ごしやすい時期になりますね。秋の行楽シーズンもはじまるということで、今回は、社会生活基本調査から「旅行・行楽」について取り上げます。

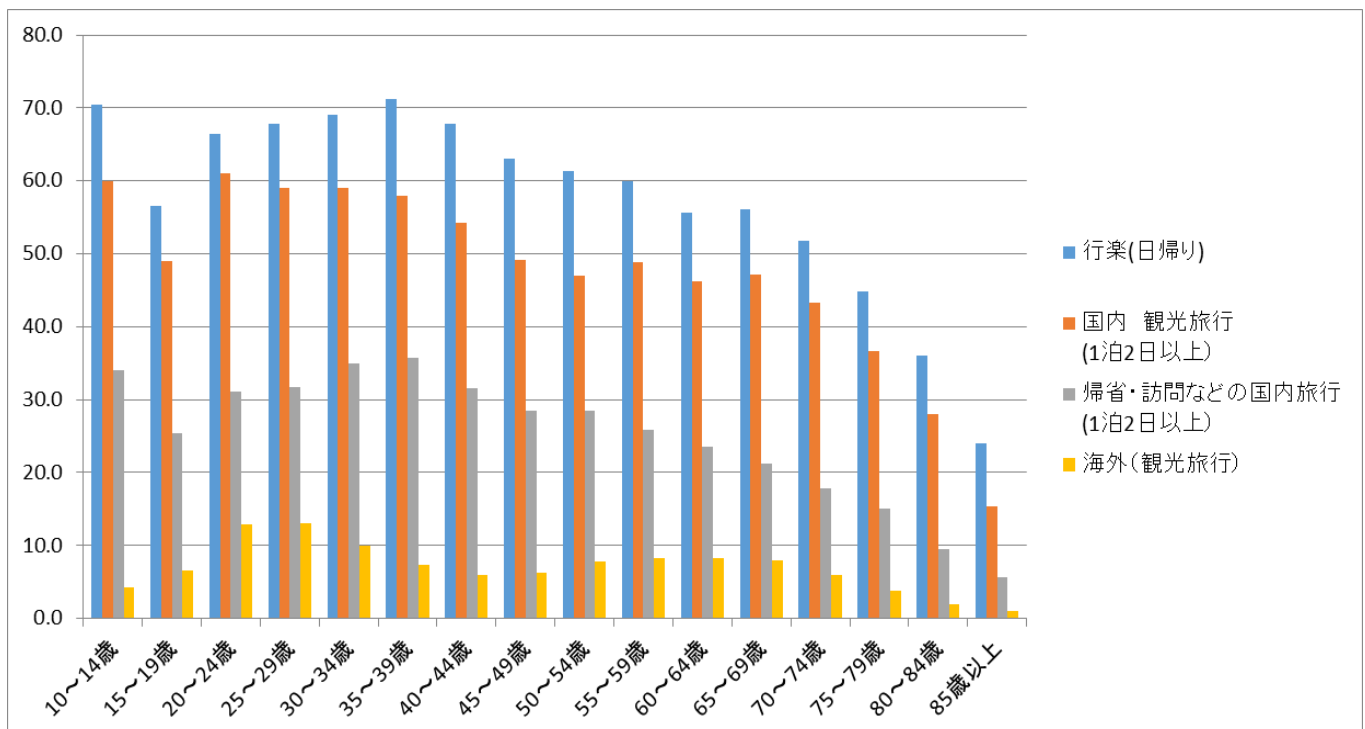
## ～社会生活基本調査とは～

総務省が実施する統計調査で、生活時間の配分や余暇時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的としています。最新の調査は、平成28年10月1日現在で実施されました。

平成28年の全国調査結果から、「旅行・行楽」の行動者率について年代別に見てみましょう。どの年代でも、行楽(日帰り)の行動者率が一番高くなっています。行楽(日帰り)は、35～39歳をピークに、年代が上がるにつれて、ほぼ右肩下がりとなっています。国内観光旅行(1泊2日以上)は、20～24歳をピークに年代が上がるにつれ、ほぼ右肩下がりで、50代後半～60代では若干増えるか横ばいとなっています。70歳以上になると年代が上がるにつれ、行動者率は減少していきます。海外(観光旅行)は、20代をピークに40～44歳まで減少していきますが、45～49歳から上昇ははじめ、65～69歳になるとまた減少していきます。

【H28「旅行・行楽」の年代別行動者率】

(単位：%)



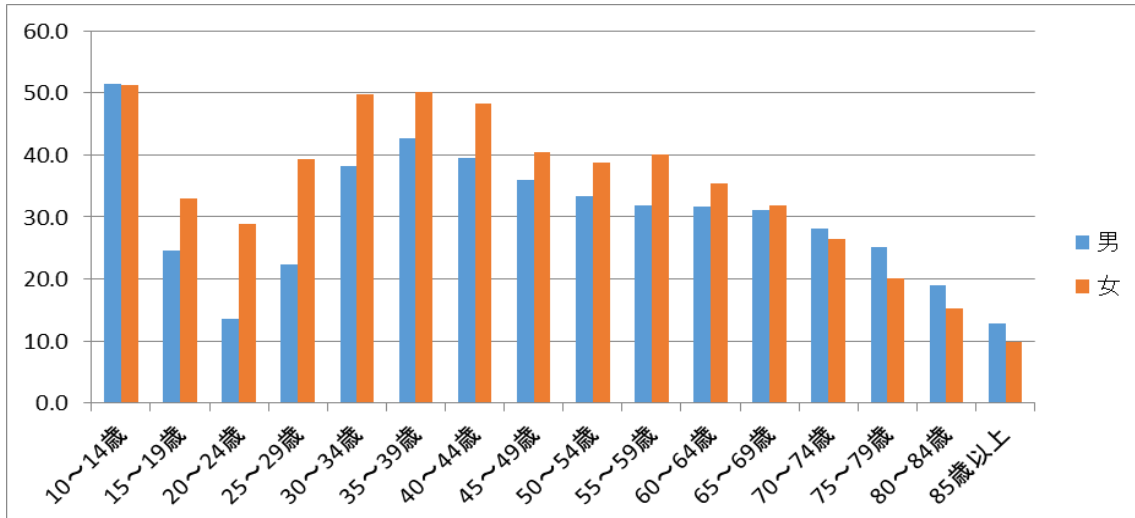
(出典：総務省統計局「平成28年社会生活基本調査」の結果を加工して作成。以下同様)

※行動者率：10歳以上人口に占める過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合(%)

観光旅行(国内1泊2日以上)について、誰と行ったのか、男女、年代にわけて見てみましょう。  
 まずは、家族と行った人の行動者率のグラフです。  
 10～14歳から20～24歳まで減少しますが、20～24歳を底にまた上昇していきます。そして30代をピークに  
 ほぼ右肩下がりとなります。  
 15～19歳から65～69歳までは、女性の行動者率の方が男性より高いのですが、70代になると逆転しています。

【H28観光旅行(国内1泊2日以上) 行動者率(家族と)】

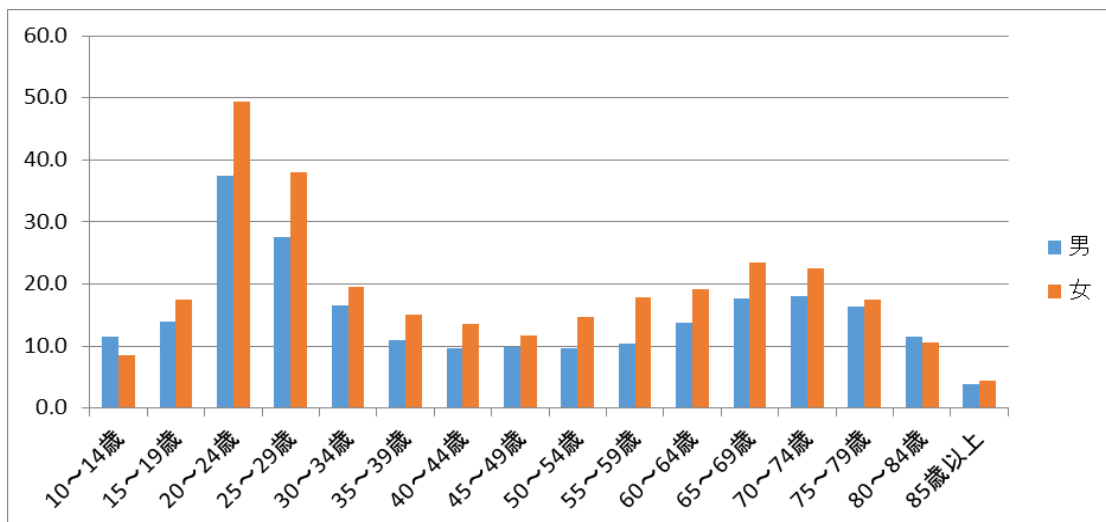
(単位:%)



次に友人・知人と行った行動者率のグラフです。  
 20～24歳をピークに、45～49歳まで減少していきますが、50代～60代は上昇し、70～74歳からまた  
 減少していきます。  
 10～14歳、80～84歳を除いて、女性の行動率の方が男性より高くなっています。

【H28観光旅行(国内1泊2日以上) 行動者率(友人・知人と)】

(単位:%)



熊本県の統計情報は

「[http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c\\_id=3&class\\_set\\_id=1&class\\_id=1297](http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297)」をご覧ください。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1  
 電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp